

(12) 非常勤講師等

① 非常勤講師

ア 大学院学校教育研究科

授業科目名	時間数
学習臨床学特論	12
いのち教育論	6
いのち教育論	6
現代教育課程特論	30
学校カウンセリング特論	32
心身医学特論	30
肢体不自由心理・生理学論	15
重複障害心理特論	30
漢文学特論	30
政治学特論	30
数学教育学特論B	30
理科野外観察指導実習H	15
音楽における心理と発達	15
ピアノ演奏研究Ⅱ (アンサンブルを含む。)	15
造形心理学特論	30
住居学特論	30
食教育特論	30
教育課程行政特論	30

イ 学校教育学部

授業科目名	時間数
社会教育計画A	32
社会教育計画B	32
社会教育演習Ⅰ	30
社会教育演習Ⅱ	30
博物館概論	15
博物館経営・情報論	30
博物館資料論	10
学校図書館メディアの構成	23
教育方法学	10
生涯学習概論B	30
社会福祉Ⅰ	30
社会福祉Ⅱ	30
養護内容	30
子どもの福祉	30
漢文学講読	30
国文学講読A	30
国文学演習B	30
コミュニケーション英語CⅡ(Dグループ)	30
英文学演習	30
比較文化	30
地誌学概説	15
国際地誌学	15
倫理学概説	30
社会学概説	30
考古学認識論	30
日本前近代社会史認識論	30
歴史・民俗資料演習	30
算数	30
幾何学概論	30
微分積分学	30
音楽	40
合奏B	30
独唱Ⅲ	30
美術史論	30
金属加工法	30
住居学(製図を含む。)	10
被服学	15
家庭電気・機械・情報	30
中等家庭科指導法(教材論)	30

② 教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く）

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
総合・生活科指導法	生活科及び総合的な学習について、教育実習に必要な知識・技能を提供する。	12
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	10
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	2
中等国語科指導法（授業論）	中学校の国語科授業における授業計画の立て方について実践的な立場から説述する。	4
中等国語科指導法（課程論）	中学校の国語科授業におけるカリキュラム開発について実践的な立場から説述する。	2
中等国語科指導法（学習論）	中学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	2
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数の指導展開の実際	12
数学科指導法	問題解決の立場に立つ数学の授業構成と展開の実際	6
中等家庭科指導法（教材論）	中学校家庭科の教育現場における教材について、紹介、指導、助言を行う。	2
初等家庭科指導法	教育現場における小学校家庭科の指導について教授すると共に、教育現場管理職の視点から家庭科指導法への提言を行う。	24
中等技術科指導法（課程論）	技術科のカリキュラム開発と実践	12
中等技術科指導法（基礎論）	技術科教材研究の実際に関する基礎論	10
初等音楽科指導法	初等音楽科教育における学習指導法などの理解を深める	14
中等音楽科指導法（授業論）	中等音楽科指導法について主として実践力の向上をめざす	4
中等音楽科指導法（学習課程論）	中等音楽と初等音楽とのつながりを考える	4
中等音楽科指導法（実践応用論）	中等音楽科指導法について主として実践力の向上をめざす	12
総合演習（学校と食の教育）	人と食との関係を総合的に理解すると共に、学校での食の教育に必要な知識や指導の方法を学習する。また、食に関する指導の実践例の紹介を通じて食の教育への理解をより深める。	6
総合演習（学校と食の教育）	人と食との関係を総合的に理解すると共に、学校での食の教育に必要な知識や指導の方法を学習する。また、食に関する指導の実践例の紹介を通じて食の教育への理解をより深める。	6
学習場面観察基礎	子どもの学びの場面に実際に臨みながら、その成り立ちと過程を観察し、子どもの学びの論理をとらえるための基礎的な実習を行なう。	2
学習場面臨床学	子どもの学びの成り立ち・過程と、そこにおける教師の関わりについて実践的に理解する。	4
特別支援教育基礎（介護等体験の指導内容を含む）	特別支援教育における指導及び社会福祉施設の概要、介護等体験の主旨について論述する。	8
初等体育科指導法	体育科教育における現場からの指導助言	16
図画工作科指導法	図画工作科の教科内容の理解や実際の指導法などの習得を目指す。	18

イ 教科に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
総合・生活A	生活科・総合的な学習の実際について、基礎的知識を提供する。	6
総合・生活B	生活科・総合的な学習の時間を指導する際、教員に求められる、必要不可欠な知識・技能の基礎的な研究、研究方法を習得する。	8
学習指導と学校図書館	学校図書館の活用およびその指導内容・方法について、実践的な立場から説述する。	10
家庭の教育と育児	乳幼児の教育・保育について実践的な理解を深める。家庭の子育てをめぐる諸問題や子育て支援、保育所における3歳未満児の保育について具体的事例に基づいた論議と考察を行うとともに、実際的な技能を習得する。	6
実践セミナーⅠⅡ「家庭」、及び実践場面分析演習ⅠⅡ	中学校家庭科の教育現場における授業について、紹介、指導、助言を行う。	4

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
保育実習Ⅰ	知的障害者施設の実態と具体的な指導法の理解を図る。	6
保育実習Ⅱ	母子生活支援施設の実態と具体的な指導法の理解を図る。	2
介護等体験（社会福祉施設） 事前指導（学部・免P）	教員免許状を取得するには、介護体験を行わなければならない。1年次に特別支援学校2日間及び2年次に社会福祉施設5日間の計7日間の介護等体験を実施する。	2
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、生活科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	6
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、学習指導上不可欠な基礎的技能を15グループに分けてグループ単位で実践的に習得させる。板書指導とその構造化の指導を担当す	30
教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）	教育実習に向けて、学習指導上不可欠な基礎的技能を15グループに分けてグループ単位で実践的に習得させる。板書指導とその構造化の指導を担当す	30

③ ティーチングアシスタント
修士課程学生

授業科目名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
総合演習（学校と食の教育）	立屋敷	後	月 5	30	時間
体験学習 A	渡辺 他	前	集中	30	時間
体験学習 B	五百川 他	通年	不定期	30	時間
体験学習 E	立屋敷 他	通年	不定期	30	時間
体験学習 F	大場孝 他	通年	不定期	30	時間
体験学習 G	上野 他	通年	不定期	30	時間
体験学習 H	東原 他	通年	不定期	30	時間
体験学習 J	安部泰	通年	不定期	30	時間
スポーツ実践 A・B	土田 他	前	水 2	30	時間
スポーツ実践 C・D	土田 他	前	火 2	30	時間
ウォータースポーツ	清水	前	集中	30	時間
マリンスポーツ	清水 他	前	集中	30	時間
スノースポーツ	市川 他	後	集中	30	時間
中国語・中国事情	黎	前	月 3	30	時間
保育・表現の指導法	香曾我部, 阿部靖	後	金 2	30	時間
保育・健康の指導法	下村義 他	後	月 3	30	時間
教育情報演習 A	井上	後	月 4	30	時間
教育情報演習 B	大森	後	金 3	30	時間
教育情報演習 C	高野	後	月 3	30	時間
教育情報演習 D	石川	後	木 2	30	時間
表現・相互行為教育演習	松本健 他	前	火 1	30	時間
表現・状況的教育方法演習	高石 他	後	月 5	30	時間
音楽	平野俊 他	通年	木 3	46	時間
図画工作 A	洞谷 他	前	金 3	30	時間
図画工作 B	洞谷 他	前	木 1	30	時間
図画工作 C	洞谷 他	前	火 3	30	時間
図画工作 D	洞谷 他	前	木 4	30	時間
算数科指導法 A B	伊達, 両角	前	木 2	15	時間
算数科指導法 C D	伊達, 両角	前	火 2	15	時間
初等音楽科指導法 A B	時得, 長谷川正	前	月 2	30	時間
初等音楽科指導法 C D	時得, 長谷川正	前	木 2	30	時間
初等体育科指導法 A	下村義 他	前	月 1	30	時間
初等体育科指導法 D	下村義 他	前	水 1	30	時間
初等家庭科指導法 A B	得丸, 佐藤ゆ	前	火 2	15	時間
初等家庭科指導法 C D	得丸, 佐藤ゆ	前	火 1	15	時間
冬季野外運動（スキー）	市川	後	集中	30	時間
機械工学実習	黎	後	木 4	30	時間
被服製作の理論と実習	佐藤悦	後	火 3. 4. 5	30	時間
食生活論	立屋敷	前	木 1	30	時間
調理の理論と実習	立屋敷	後	火 3. 4. 5	30	時間
電気工学実験実習	川崎	前	木 4	30	時間

授業科目名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
夏季野外運動（カヌー）	清水	前	集中	30	時間
造形基礎A C	安部 他	前	月 5	30	時間
指揮法	長谷川正	前	木 5	30	時間
生物学実験	小川, 谷	後	木4. 5	30	時間
計算機数学演習	中川	後	木 4	30	時間
地理学野外実験	赤羽 他	前	集中	30	時間
書写書道Ⅱ	押木	前	月 3	30	時間
カウンセリング基礎演習	未定	後	水 2	30	時間
心理学実験	森口	前	木3. 4	30	時間
コンピュータプログラミング入門A	高野	前	火 2	30	時間
コンピュータプログラミング入門B	高野	後	月 1	30	時間
書写書道Ⅰ	押木	後	月 2	30	時間
数学基礎演習	溝上	後	火 4	30	時間
物理学実験	定本	後	月3. 4	30	時間
造形基礎B D	西村 他	前	月 4	30	時間
木材機械加工法	東原	後	月 4	30	時間
食科学実験A	光永	後	月4. 5	30	時間
被服学実験A	佐藤悦	後	木4. 5	30	時間
伝統絵画表現と鑑賞	洞谷 他	後	火 5	30	時間
地学実験	大場孝 他	前	月4. 5	30	時間
工芸表現B	高石	前	木 5	30	時間
食科学実験B	立屋敷	前	月4. 5	30	時間
デザインワークⅠ	安部	後	木 3	30	時間
日本画表現	洞谷	前	火 4	24	時間

④ ティーチング・サポーター

修士課程学生

授業科目名	担当教員	学期	曜日・ 時限	希望時間数	
				30	時間
国語(書写を含む。)	有澤 他	前期	集中	30	時間
社会	山縣, 松田, 畔上	前期	火5	30	時間
理科	中村 他	後期	月2	30	時間
音楽	平野俊 他	通年	月6	46	時間
図画工作	洞谷 他	前期	木6	30	時間
体育	市川	前期	集中	30	時間
家庭	光永 他	前期	月2	30	時間
道徳の指導法	林	前期	金6	30	時間
特別活動論	橋本	前期	金1	30	時間
算数科指導法A・B	伊達, 両角	前期	木2	15	時間
算数科指導法C・D	伊達, 両角	前期	火2	15	時間
初等音楽科指導法	峯岸	前期	火2	30	時間
図画工作科指導法	阿部靖, 五十嵐史	後期	木6	30	時間
初等体育科指導法B	下村義 他	前期	月1	30	時間
初等体育科指導法C	下村義 他	前期	水1	30	時間
初等家庭科指導法	得丸, 佐藤ゆ	前期	木6	30	時間
生徒指導論	安藤, 稲垣	後期	月1	15	時間
教育相談・カウンセリング論	宮下 他	後期	木2	60	時間
進路指導・キャリア教育論	白木	後期	月1	15	時間

⑤ リサーチ・アシスタント

任 用 期 間	研究補助業務担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト代表者
平成22年6月1日 ～平成23年3月31日	200時間	小学校と連携したワークショップ型学習の題材開発に関する研究	学校教育研究科	西村 俊夫 教授
平成22年6月1日 ～平成23年3月31日	200時間	先端技術の教材化と標準モデルの開発・評価	学校教育研究科	川崎 直哉 副学長 (教授)
平成22年6月1日 ～平成23年3月31日	200時間	瞑想を導入したいのち教育とその評価～生化学的評価と心理尺度評価～	学校教育研究科	得丸 定子 教授